

白鳥瓦版

発行
千葉市議
会議員
白鳥誠
事務所

〒266-00
33 千葉市
緑区
おゆみ野
南
2-97-9

Te l
043-293-
7130

F a x
043-307-
4882

E-mail
info@m-s
hiratori.j
p

URL
www.m-s
hiratori.j

30年以内に震度6弱以上の地震の発生確率 千葉市 62%

政府・地震調査委員会 2018年版 千葉市85%
↓
// 2020年版 千葉市62%

*確率計算に東日本大震災のデータや地盤の固さを評価する手法に新たな計算方法を取り入れたこと等により確立に変化。2018年版から、確率は85%から62%と23ポイント減りましたが、減少したからと言って地震が発生しなくなったわけではなく、極めて高い確率です。巨大地震への日ごろからの備えが必要です。

全国の県庁所在市で確率が高い都市

水戸市81%、徳島市75%、高知市75%、静岡市70%、和歌山市68%、津市64%、高松市64%、千葉市62%、奈良市62%、さいたま市60%、大分市55%、東京47%・

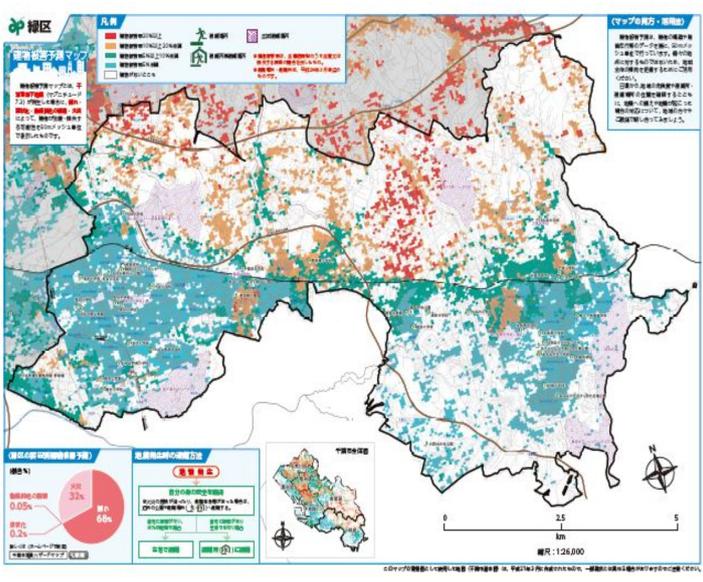
*千葉市は、62%と全国で8番目に高い確率となっています。

近い将来危惧される南海トラフ地震、首都直下地震

南海トラフ巨大地震 *被害規模は東日本大震災の10倍以上
静岡県から宮崎県にかけての一部では震度7となる可能性があり、隣接する周辺の広い地域では震度6強から6弱の強い揺れになると想定。経済損失は東日本大震災の20兆円とされていますが、南海トラフ地震では220兆円以上と言われ、死者数は、約23万人と予測されています。

首都直下地震

首都直下地震は、震源はどこになるか予測できず、千葉市では、「首都直下地震」のひとつとして、千葉市役所の直下（断層の上端深さ約 30km）において発生する「千葉市直下地震」を想定地震としています。地震規模はM7. 3、千葉市内における最大震度は6強と想定（緑区では、区域の約4割が震度6強、約5割が震度6弱と想定）。直接経済被害は、全市で約 2.3 兆円と予測。主な被害は、建物被害が約 1 兆 800億円、家財被害が約6, 600 億円となります。また、下水道・電気等のライフライン・通信・交通への甚大な被害が予測されています。
*詳細は千葉市HP「千葉市地震被害想定調査報告書」「千葉市ハザードマップ」を参照



地震・緑区ハザードマップ

千葉市・地震から身を守る10か条

(詳細は千葉市HP参照)

1. まずわが身の安全をはかる
なによりも、まず第一に身の安全を確保する。
2. すばやく火の始末、あわてず、さわがず、冷静に揺れがおさまったら、調理器具や暖房器具などの火を確実に消す。
3. 脱出口を確保する
建物内にいるときは、ドアや窓を閉めたままだと建物がゆがみ出入口が開かなくなることがある。
4. 火が出たらまず消火を
「火事だ!」と大声で叫び、隣近所にも協力を求め、初期消火に努める。
5. 外に逃げるときはあわてずに
外に逃げるときは、瓦やガラスなどの落下物に注意し、落ち着いて行動する。
6. 狭い路地、塀ぎわ、がけや川べりには近寄らない。ブロック塀・門柱・自動販売機などは倒れやすいので注意する。
7. がけ崩れ、山崩れ、津波に注意
山間部や海岸地帯で地震を感じたら、早めに避難態勢をとる。
8. 避難は徒歩で、荷物は最小限に
避難場所・避難所には、小・中学校などが指定されている。車を使わずに徒歩で避難する。
9. みんなで協力して応急救護を
お年寄りや身体の不自由な人、けが人などに声をかけ、みんなで助け合う。
10. 正しい情報をつかみ、余震を恐れるな
うわさやデマにまどわされない。テレビやラジオで正しい情報を。

ご家族同士の安否確認方法

決まっていますか?

千葉県のアナケート調査によると、7割近くの方が災害時家族等の間で安否確認の方法を決めていないとのこと。手段として、災害用伝言ダイヤル171、携帯電話災害用伝言板、web171などが利用できます。日頃から、ご家族で使用方法を確認し、万が一の時のために備えておきましょう。

災害用伝言ダイヤルの使い方

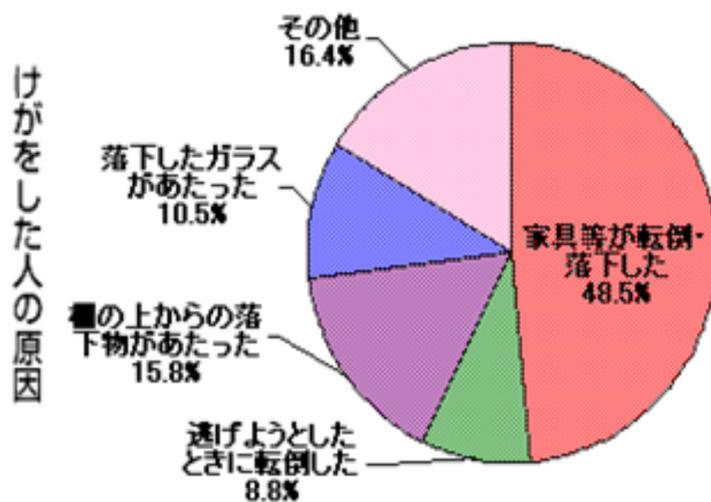


千葉市・わが家の危機管理マニュアル

家屋の危険性

阪神・淡路大震災では亡くなった方の約8割は建物や家屋の倒壊によるもので、けがをした方の4分の3近くは家具の転倒などによるものでした。各家庭では住宅の耐震化や家具の固定など、地震に対する備えをしておくことが非常に重要になります。しかし、多くの方々が「自分の家は大丈夫」「自分だけは大丈夫」といった意識があり、家庭内対策はなかなか進んでいないのが現状です。阪神・淡路大震災の状況を今一度思い出し、ご家庭や会社での防災対策に取り組んでください。

- 家具や照明器具をしっかり固定し、転倒や落下を防ぎましょう。
- わが家の耐震化を進め、危険箇所は修理しておきましょう。
- ガラスには飛散防止フィルムをはっておきましょう。
- ガラスなどが割れたときのためにスリッパや運動靴を用意(寝室等に)しておきましょう。
- 家の中に地震時の逃げ場となる安全なスペースを確保しておきましょう。



平成7年2月神戸市消防局調査



ご意見をお聞かせください!

今回取り上げた問題等、市政に関わることなんでも結構です。皆様のご意見をお聞かせください。どうぞよろしくお願いいたします。

MAIL: info@m-shiratori.jp

FAX: 043-307-4882